

国営かんがい排水事業「伊江地区」

着工までの経緯

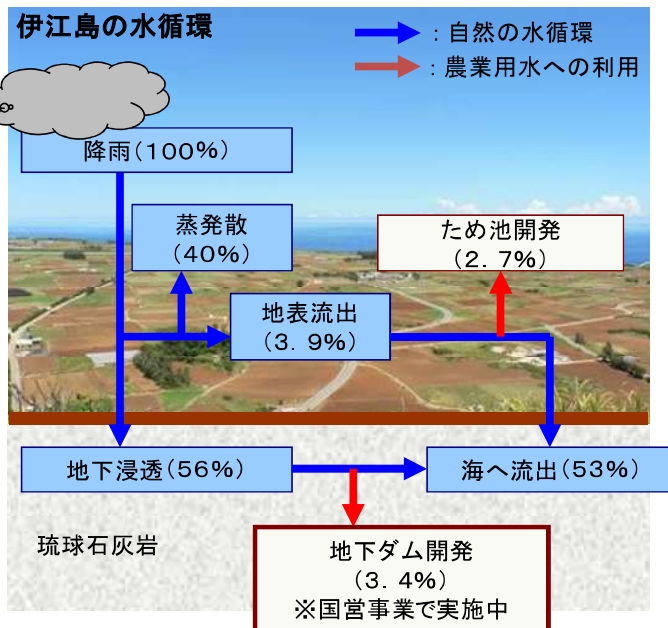
伊江島の地形は、城山(標高172m)を除けば台地状で比較的平坦です。地質は、城山などの一部の地域を除き、透水性の高い琉球石灰岩が厚く堆積しています。

島の降雨量が多いものの、降った雨の大半は地下に浸透し、農業用水の確保に苦心してきました。

伊江島の全景



※沖縄本島海洋博公園から見た伊江島



島内には河川がなく、畑作に必要な農業用水は、降雨と既存ため池に依存しているため、農業生産が不安定となっています。また、作物への散水は、ため池の水をタンク車で運搬し行っており、営農に多大な時間と労力が必要になります。さらに、これ以上のため池整備が困難なことから、畑地かんがい面積の拡大が頭打ちとなっており、農業振興を阻害しています。

このため、平成16年度に国営かんがい排水事業「伊江地区」を着工し、地下ダムの新設と併せて揚水機、用水路の整備を行い平成29年度に完了しました。

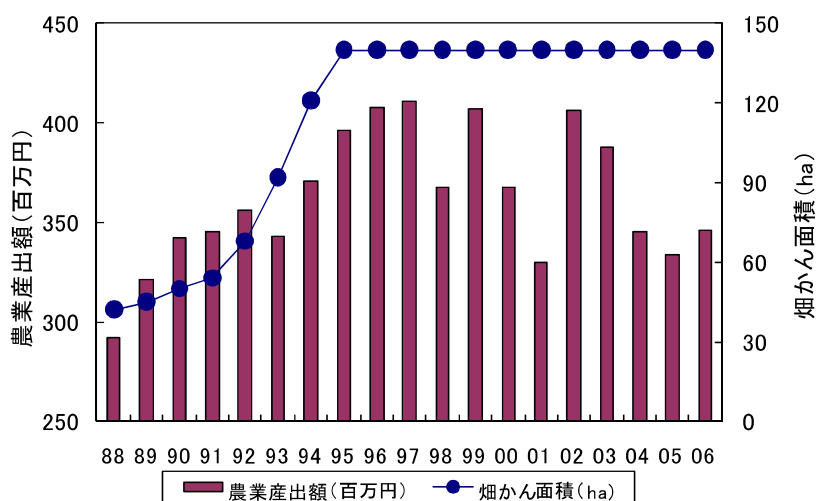


ため池からの取水状況



ほ場への散水状況

畑かん面積と農業粗生産額の推移(伊江村)



資料) 沖縄農林水産統計年報

国営かんがい排水事業「伊江地区」

事業内容①

本事業は、伊江村の畑668ha(用水改良423ha、畑地かんがい245ha)を対象に、地下ダム(堤高＝59.2m、堤長＝2,576m、有効貯水量＝754千 m^3)を新設するとともに、揚水機(2カ所)、用水路(延長＝9.0km)を整備し、併せて関連事業による末端用水路等の整備を実施することにより、安定的なかんがい用水の確保を行い、農業生産性の向上及び農業の近代化を図り、農業経営の安定を目指します。

工期

平成16年度着工～平成29年度完了

受益地

受益面積(ha)	668(畑)
市町村名	伊江村

地区概要図(一般計画平面図)



水源

本地区は、既設のため池(17カ所)を補給水源として利用し、不足する水量について新規に国営施設(伊江地下ダム)の開発を行い、水源として活用しています。

項目 貯水地名	流域面積 (km^2)	総貯水量 (千 m^3)	有効貯水量 (千 m^3)	備考
伊江地下ダム	1.4	1,408	754	新設

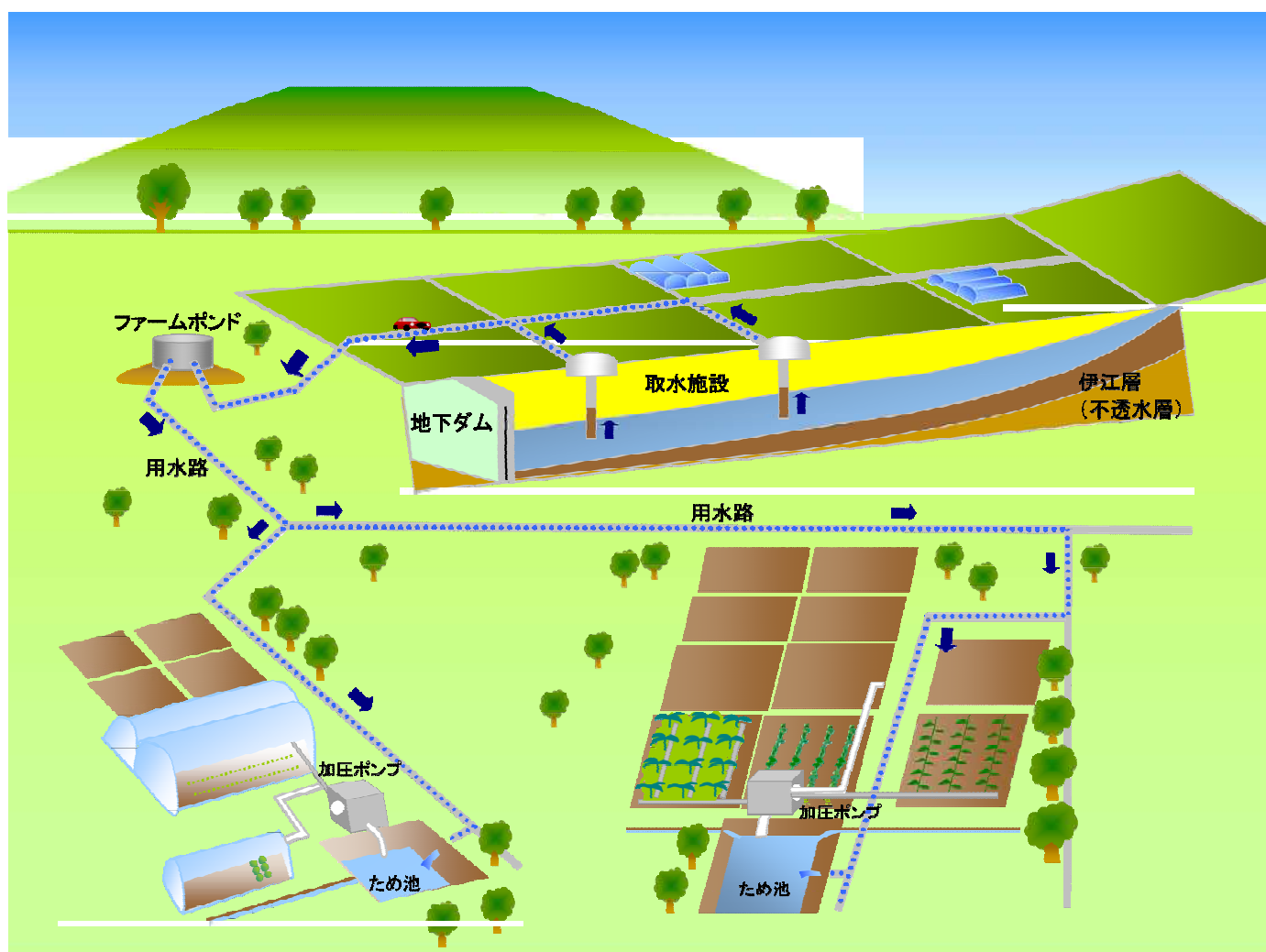
国営かんがい排水事業「伊江地区」

事業内容②

配水方法

地下ダムからほ場までの配水は、次のように行われます。

1. 地下ダムに貯水した水を、取水施設(水中ポンプ)によりファームポンドへ揚水します。
2. ファームポンドの水は、高低差を利用して低い位置にあるため池やほ場へ送られます。水圧が足りないほ場には加圧ポンプで水圧を上げて送ります。
3. ほ場に届いた水は、スプリンクラー等から作物にかんがいされます。



国営かんがい排水事業「伊江地区」

事業内容③

主な施設

伊江地下ダム



伊江地下ダム全体図

※赤線の地下に地下ダムの壁があります。



止水壁モデル

流域面積	1.4km ²
総貯水量	1,408千m ³
有効貯水量	754千m ³
堤高	59.2m

ファームポンド



1号ファームポンド



地下ダム建設現場

2号ファームポンド



名称	有効容量(m ³)
1号ファームポンド	6,700
2号ファームポンド	1,500

揚水機場

揚水機場名	揚水量
マタ揚水機	0.021m ³ /s
ウカバ揚水機	0.006m ³ /s

用水路

名称	延長
東幹線用水路	3.5km
西幹線用水路	3.3km
グスク用水路	0.2km
マタ送水路	0.9km
ウカバ送水路	1.1km

国営かんがい排水事業「伊江地区」

事業の効果

農業生産の向上

- 地下ダムやファームポンド、用水路等を整備することにより安定的な農業用水の確保が実現されます。
- キク、マンゴー等の高収益作物の生産拡大や、さとうきび、牧草等の反収の増加が期待できます。
- これまで栽培できなかった新規作物の栽培が可能となります。

◆安定的な農業用水確保



◆高収益作物の生産拡大



◆反収の増加



◆新規作物の導入



営農労力・経費の節減

- 給水栓やスプリンクラー等、末端施設の整備が行われることで、従来のため池からほ場までの水の運搬等が解消され、営農労力・経費が大幅に軽減されます。

◆これまで

さとうきび農家



キク農家



◆事業完了後

